

カトリック河原町教会だより

2013年8月

2013年 平和旬間行事

映画観賞会

「わすれない ふくしま」

8月11日(日) 11時半～
ヴィリオンホール

2013年の平和旬間行事として、映画観賞会を行います。



「2011年3月11日東日本大震災、そして太平洋沿岸500キロに渡る大津波により多くの人々が犠牲になった。また、その翌日の3月12日からの福島第一原発の事故により大量の放射能が放出された。この映画は2011年5月福島第一原発北西40キロの福島県飯館村から始まり、そこから避難したある家族と、いまだ警戒区域で300頭の牛を飼いつづけている畜産家の日常を追った記録です。」(ポスターより)

教皇ヨハネ・パウロ2世 ヨハネ23世 列聖へ



ヨハネ・パウロ2世



ヨハネ23世

教皇フランシスコは7月5日、福者ヨハネ・パウロ2世教皇(在位1978～2005年)、ならびに福者ヨハネ23世教皇(同1958～63年)を列聖する教令発布を承認し、2人の元教皇が聖人の列に加えられることが決定しました。なお、列聖式の日程は発表されていませんが、今年中に行われる予定です。

比叡山宗教サミット26周年

世界平和の祈りの集い

8月4日(日) 午後3時～ 比叡山延暦寺
天台宗国際平和宗教協力会議 077-579-0022

聖母の被昇天

8月15日(木)は「聖母の被昇天」の祭日です。マリアが霊魂も肉体ともに天に上げられたという教義で、1950年11月1日に、教皇ピオ12世(在位1939～1958)が全世界に向かって、処女聖マリアの被昇天の教義を公布しました。ピオ12世は「無原罪の神の母、終生処女であるマリアがその地上の生活を終わった後、霊肉とともに天の栄光に上げられたことは、神によって啓示された真理であると布告し、定義する」と宣言されました。

聖書の中で、聖母被昇天については直接記されていませんが、カトリック教会は何世紀にもわたって伝達されてきた伝承(聖伝)を聖書とともに大切にしてきました。この聖母の被昇天の教義も神



から啓示された伝承の一部であることをかつての司教たちが一致して認め、教皇ピオ12世が教会の教義であることを公布したものです。

聖母の被昇天への信仰は、マリアだけが特別な存在だと言いつつも、マリアだけが特別な存在だと言いつつも、キリストによる救いにあずかる人たちの象徴として、信じるすべての人たちの救いへの希望を表現するものです。聖母の被昇天のミサの集会祈願はこのことを教えています。「全能永遠の神よ、あなたは、御ひとり子の母、汚れのないおとめマリアを、からだも魂も、ともに天の栄光に上げられました。信じる民がいつも天の国を求め、聖母とともに永遠の喜びに入ることができますように。」

「高山右近記念聖堂 高槻教会」への巡礼

5月19日、河原町教会キリシタン研究会の呼びかけによって、高山右近記念聖堂高槻教会への巡礼が行われました。この日の参加者は6名。ミサでは「列福を願う祈り」をともに唱え、河原町教会からの巡礼者として紹介されました。ミサ後「高槻高山右近研究会」のメンバーの方の案内で教会周辺の右近ゆかりの史跡を巡り、わかりやすい説明をしていただきました。右近が城主を務めた高槻城、城内に建立した天主堂、安土より移築させたセミナリオとキリシタン墓地跡など、今はいずれもその姿を実際に見ることはできません。



高槻城公園の右近像

しかし、その死から400年経った今、幾多の試練を耐えぬいた、揺らぐことのない右近の“信仰の足跡と息吹”にほんの少しでも触れることができた巡礼のひとときでした。

次回の巡礼には、是非参加してみませんか。

シスターの入門講座

6月からシスター藤田のキリスト教入門講座が始まりました。講座の様子をシスター藤田に聞きました。

■この講座では『カトリック教会のカテキズム要約』を使って、受講生の方々と聖書の内容について学んでいます。この講座を通して、自分から望んで聖書を読みたいと思うようになり、毎日の生活の中で神様と結ばれるきっかけができればと願っています。今、心の中で生き方を求めている方やイエス様のことを知りたいと思っている方、一緒に学びませんか。

■シスターは河原町教会の出身で、この春まで仙台で、児童養護の分野に携わっていました。聖ドミニコ女子修道会は聖ドミニコの霊性を生きる女子修道会で、日本では学校や幼稚園、児童施設でキリスト教の教えに基づく教育をしています。



シスター藤田のキリスト教入門講座

毎週 金曜日 午後3時 / カトリック会館 3階
(8月はお休みです。)

♪よく歌うことは よく祈ること♪

京都カトリック混声合唱団

京都カトリック混声合唱団は1991年(平成3年)3月に開催された南信協フェスティバルのミサで、主に京都市内の小教区の有志が集まって聖歌奉仕をしたのを機会に結成されました。以来22年、村上眞理雄神父様を顧問として、京都司教区内で典礼聖歌を奉仕し、歌い継ぐ混声合唱団として活



チャリティーコンサート

動を続けてきました。河原町司教座聖堂での東日本大震災復興支援、心の

のともしび運動の YBU 本部支援のチャリティーコンサート、希望の家やのぞみの園への慰問コンサートなどを行っています。現在、団員は約40名。聖歌が好きなのであれば誰でも参加できます。楽譜は読めなくてもレッスンはできます。練習は第2日曜日午後2時からと第4土曜日の夕方6時半のミサ奉仕後に行っています。一緒に祈り、歌いませんか。連絡は遠藤政樹(090-3925-5885)まで。



練習風景

- ▼八月行事予定
四頁の行事予定に掲載。
- ▼協議事項
- ①河原町教会選挙管理委員会規定を協議し司祭団に上申。
 - ②クリスマス実行委員会 委員長に李家隆美氏を選出。各部から委員を選出する。
 - ③評議会議事録を事務室に備え、希望者は閲覧ができる。
 - ④部会登録方法の変更検討。
 - ⑤「教会からのお知らせ」の内容については司祭団の承認を得るとし、水曜日までに、事務室に提出する。
 - ⑥聖堂内の音響の改善を検討。設備業者に効果測定を依頼。
 - ⑦典礼研修会記録のCDを購入し、典礼部で保管、活用する。
 - ⑧教区福音宣教企画室主催の役員交流会に越知氏が参加する。
 - ⑨教会に初めて訪れた人を迎え入れる態勢を充実するために、典礼部聖堂整理担当者によるラオローと、バンフレットの補充を検討する。
 - ⑩「求道者」に同伴する信徒の養成講座参加者を教育部で検討する。
- ④高校生大船渡ボランティア三名参加予定。⑤待降節黙想会十一月二十一日(土)行。指導を阿部仲麻呂司祭に依頼する。⑥「レクチオ・デイウイナ」による主日の福音の分ち合いが九月十七日から鶴山神父の指導のもと十名程でスタート。⑦「ゼルエル」が七月で当初計画訪問完了(約五十軒)。

京都マック

アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障害・買い物依存症等のリハビリセンター

京都マックは、アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障害・買い物依存などの依存症からの回復を願っている方々が癒され、新しい生き方を身につけるためのリハビリセンターです。

マックは英語のMulti(多くの・各種の)、Addiction(依存症)、Center(センター)の頭文字からなる名称です。マックの施設は全国16か所(東京みのわMAC他)にあります。

京都マックは1990年の開設以来、約20年間衣笠教会内にありましたが、2011年4月に下京区へ移転しました。

副施設長の辻井秀治さんにお話を伺いました。



スタッフのみなさん
榎原施設長(左)、辻井副施設長(中央)

■依存症は回復できる病気です

アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症は必ず回復できる病気です。「早期発見」と「早期治療」が回復への近道です。病気の悪循環から解放されるために大切なことは、病気についての正しい知識を持ち、依存しない生き残るための適切な方法を身につけることです。この病気からの回復には、回復したいと願っている仲間との出会いが必要です。

■グループセラピー

マックではグループセラピー(ミーティング)を中心にプログラムを組んでいます。お酒を飲める自由の中で飲まないことが回復への第一歩です。マックには酒や薬のない「今日一日」があります。

ミーティングを中心としたプログラムでは、自分自身と人とのつながりを考えます。そして、定期的に通所することで健康的な生活習慣を取り戻せます。そのことが社会参加するための準備につながっていきます。

■京都マックには

京都マックには1日に平均20人ぐらいの方が通っています。女性が4割ほどです。スタッフは6人、ボランティアが4人います。

■回復のための12のステップ

マックが実践している回復プログラムには、12のステップがあります。

ステップ1:自分自身がアルコール・薬物などに対して無力であり、そのために生きていくことがどうにもならなくなっていること、依存症が病気であり、自分は依存症者であることを認める。

ステップ2:自分を越えた偉大な力(ハイヤーパワー)が自分を正気に戻してくれる、必ず依存症から回復することができると思える。

ステップ3:ハイヤーパワーに委ねる。

ステップ4:あったこと、自分がしてしまったことを振り返って、淡々と話す。(これを「棚卸しをする」と言います。)

ステップ5:ハイヤーパワーまたは信頼する他者に話をする。話をすることで

平安が訪れる。

ステップ5が終わったら、就職活動を始めます。主婦の場合は主婦業に戻ります。ここまで半年から1年、長い人で2年ぐらいかかります。



ミーティング

社会復帰後は、AAなど、自助グループの夜のミーティングに参加することもできます。この12ステップは数年ごとに繰り返して行うと効果的です。

■マックと教会の関係は・・・

マックはもともとアメリカで生まれたものです。日本では「神」という言葉はできるだけ使わないようにして、ハイヤーパワーと言い換えています。マックで神に出会って、洗礼を受けた人も何人かいます。

教会とのつながりもあります。バザーに参加したり、白や杵を持って餅つきに行ったりしています。

NPO 法人 京都マック

理事長 花井 拓夫

京都市下京区大宮通七条上る大宮

3-18 かつらぎ平安ガスセンター3F

電話:075-741-7125

E-mail:k-mac3634@flute.ocn.ne.jp

開所時間

月～土曜日 9:00～17:00

日曜日 14:30～17:00

河原町教会七月評議会報告

▼司祭団より

①河原町教会の現状と解決すべき問題点について問題提起がなされ、今後評議会でも検討する。

②日曜日十時半ミサの担当司祭を聖堂後方に掲示する。

▼部会報告

典礼部

日曜日の受付の業務時間は午後一時～三時でボランティアを募集。応募がない場合は有償のパートタイムを募集採用する。それに伴いガードマンのシフトを繰り上げる。

財務部

①今年度上半期の財務状況報告。昨年に比べ増えた支出は祭服費、オルガン調律費、聖堂空調メンテナンス費等。②営繕献金は増加。③維持費、ミサ献金はやや減少している。

施設管理部

①教会美化デーは多くの方の協力を得て実施。部員による地下各部屋のエコフィルターの掃除完了。②教会財産管理データベース作成は未着手。③新献金箱は安定性、保守性を見直した上で発注する。

広報部

六月三十日に部会開催、新しい部会規約を検討した。次回部会でまとめ、評議会に提出する。

教育部

①土曜学校錬成会はアシジのフリンシスコとローマ教皇をテーマに勉強する。小学生二十名が参加予定。②中高生会コーヒーショップ売り上げ代金一万三千円を東日本大震災復興支援に寄付。③中学生

広島巡礼に六名参加予定。

●2013年8月～10月の行事予定●

(9月、10月は予定です。変更の場合もあります。)

| 祝・記念日 | | 行 事 予 定 | |
|-------|---|---|--------------------|
| 8/4 | 日 | 比叡山宗教サミット26周年「世界平和の祈りの集い」 済州教区神学生(2名)との交流会 10時半ミサ後 | 評議会8月例会 |
| 8/5 | 月 | ～7日(水) | 教区中学生広島平和巡礼 |
| 8/8 | 木 | ～10日(土) | 土曜学校錬成会 |
| 8/11 | 日 | 平和旬間行事 映画観賞会「わすれないふくしま」 | 11時半 ヴィリオンホール |
| 8/15 | 木 | 聖母の被昇天 | 聖母の被昇天ミサ 7時 10時半 |
| 8/16 | 金 | | 諸死者追悼ミサ 午後6時 |
| 8/25 | 日 | | 田中司教様霊名のお祝い 10時半ミサ |
| 8/31 | 土 | | 教会学校研修会 |
| 9/1 | 日 | | 評議会9月例会 |
| 9/15 | 日 | | 敬老感謝ミサ 10時半 ミサ後懇親会 |
| 9/16 | 月 | チャリティーコンサート 午後2時開演 | カトリック河原町教会 |
| 9/22 | 日 | | 大日山墓地清掃 |
| 9/29 | 日 | | 教会美化デー |
| 10/6 | 日 | ロザリオの祈り 10月中の毎日 | 10時 評議会10月例会 |
| 10/7 | 月 | ～11日(金) | 教区司祭黙想会 |
| 10/13 | 日 | | 衣笠墓苑清掃(2回目) |

お知らせ

□修築特別献金 6月末現在 4,922,492円

エレベーター設置、会館配水管工事の修築特別献金が目標額2,000万円の4分の1に達しました。ご協力ありがとうございました。振込用紙を用意しました。聖堂入り口の机、受付、3F事務室にあります。引き続きご協力よろしくお願ひします。

エレベーター設置工事は8月10日ごろに、また、配水管工事は8月3日ごろに完了する予定です。

東日本大震災復興支援と
ユスト高山右近列福祈念

チャリティーコンサート

2013年9月16日(月曜日 敬老の日)

午後2時開演 (1時半開場)

京都カトリック河原町教会聖堂

入場券:1,000円 (全席自由)

京都カトリック混声合唱団 指揮 遠藤政樹

(京都カトリック混声合唱団については2頁に紹介)

河原町教会 ミサの時間

| | | |
|------------|---------------|-------|
| 日曜日(主日のミサ) | 7:00 | |
| | 10:30 | |
| | 12:00 (英語) | |
| 月曜日 | 6:30 | |
| 火曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 水曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 木曜日 | 6:30 | |
| 金曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 土曜日 | 6:30 | |
| | 18:30 (主日のミサ) | |

信仰の学び

どなたでも自由に、途中からでも参加できます。直接会場にお越しください。

◆信仰入門講座◆

(1F 集会室または3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)

19:15 一場修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)

19:00 花井拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)

金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)

19:15 村上透磨神父 (1F)

◇鶴山進栄神父の個人講座がスタートしています。ご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◆信徒養成講座◆

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

※8月の講座はありません

9月5日(木) 14:00

10月3日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。(主催:教育部)